

会報 JAISA

2021
冬号
第65号



第18回 自動認識総合展 大阪 を開催

2020年12月1日～2日まで、大阪市マイドームおおさかで「第18回 自動認識総合展 大阪」が開催されました。展示会場やセミナー入口の自動検温、マスク類の着用、手指消毒、展示場内清掃など、感染症予防対策を講じての開催となりました。セミナーは7セッション12講座が用意され、各業界におよぶ自動認識の活用事例など、ビジネスに役立つ情報が講演されました。

会報JAISA冬号 第65号 CONTENTS

2021年 新年のご挨拶

P1

2021年 新春賀詞交歓会

P2～4

<特集> 第18回 自動認識総合展 大阪

P5～11

自動認識基本技術者/RFID専門技術者 資格認定講習・試験

P12

第22回 自動認識総合展 開催中止のお知らせ

2021年2月7日(水)～19日(金)まで東京ビッグサイトで開催を予定しておりました「第22回 自動認識総合展」は、昨年来のコロナ禍にありながらも感染対策に十分留意し、開催に向けて準備を進めてまいりましたが、年末以降の新型コロナウィルス感染者拡大に歯止めがかからず、緊急事態宣言も発令されました。現在の状況を鑑みると2月以降の収束も不透明であることから、主催者で協議を重ねた結果、開催を中止することとなりました。

ご出展者ならびにご来場を予定されている方々にご迷惑をお掛けいたします。ご理解のほど、お願い申し上げます。



2021年 新年のご挨拶

一般社団法人日本自動認識システム協会 代表理事長 池田 隆之

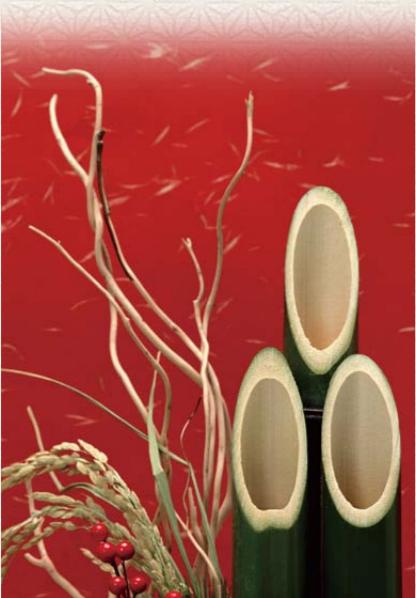
2021年(令和3年)の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、平素より当協会の事業活動に多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウィルスの感染拡大によって世界経済が大きな打撃を受けただけでなく、多くの尊い人命が失われました。感染症に苦しむ方々にお見舞い申し上げるとともに、会員の皆さまのご健勝をお祈りいたします。

新型コロナウィルスの国内における影響は依然として続いている、生産、輸出、消費など主要経済指標は2020年5月を底に持ち直しているとはいえ、年末に訪れた感染第三波により外食、宿泊、娯楽などのサービス消費はコロナ前の水準を大きく下回り、企業の経営、雇用情勢を後退させている状況です。

一方、新型コロナウィルス鎮静化が見えない不透明な状況にあっても、我が国は一人ひとりに根付いた忍耐と勤勉さで新しい生活様式を構築し、通常の感染予防に加え、テレワークやEコマース、キャッシュレス



決済などの新しい取り組みが浸透し、企業活動と社会経済の持ち直しを図っております。これら新しい生活様式による新たな日常は、今までにない需要を生み出し、非接触、無人化、新たな働き方への取り組みが一層求められております。

自動認識技術はこれまで、非接触化、省人化、そしてAI、ロボット、自動走行など新技術との融合によってデジタル化を促進し、経済のインフラ基盤を支えてきました。そして、「持続可能な開発目標(SDGs)」として掲げられた17Goalsには、その実現に向けて自動認識技術の活用が期待されております。

当協会でも、SDGsに貢献する会員各社が開発した新たなソリューションを展示会でご紹介しております。今後、DX(デジタルトランスフォーメーション)によりシステムやビジネス構造の大きな変革も想定されておりますが、自動認識技術はDXの基盤技術の一つとしてその変革を支え、そして進化させる可能性を持つものと確信しております。

お蔭さまで当協会では、昨年も新たな会員企業をお迎えすることができ、オンライン／オフライン併用による協会催事開催をはじめ情報発信の強化も図っております。今後も総合的な自動認識技術の活用促進をより広範囲に進めてまいります。また、業界関連団体や関連省庁との連携をはかり、社会の安全・安心や社会的利便性向上に貢献できるよう、引き続き活動を推進してまいります。

最後になりましたが、2021年が皆様により良い年となりますよう心からお祈り申し上げるとともに、益々のご発展を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



2021年 新春賀詞交歓会をオンラインで開催

一般社団法人日本自動認識システム協会(=以降JAISA)は2021年1月14日午後5時から、オンラインによる「新春賀詞交歓会」を開催しました。一都二府七県に及ぶ非常事態宣言発令下(当時)にあり、来賓の経済産業省、総務省の皆さまはじめ、会員企業、報道関係など、120名余りがリモートでの参加となりました。

新たな日常を支える自動認識

本年の賀詞交歓会開催にあたり、JAISA代表理事長 池田隆之は年頭の挨拶で、昨年から続く厳しい環境にあっても、引き続き会員各社をはじめ関係各署と協力して、自動認識技術の裾野を広げ経済活性化に貢献していくと述べました。

とりわけ、新生活様式で非接触、自動化、省人化など新たに生まれた需要を育て、且つデジタル化を促進していくことで、自動認識技術は今後のDX(デジタルトランスフォーメーション)など社会システムの変革に欠かせない基盤技術のひとつとして、ますます重要な役割を果たすことをアピールしました。



JAISA 池田代表理事長

経済産業省 玉井課長が講演

賀詞交歓会は続いて、来賓を代表して経済産業省製造産業局産業機械課課長 玉井優子様のご挨拶と講演に移りました。

玉井課長は、はじめに新型コロナウィルス感染症に苦しむ方々へのお見舞いと、医療従事者、及び産業界からの医療・生活物資増産などの支援に感謝を述べました。

講演では、Withコロナ／Postコロナ時代に求められる構造転換に向け、デジタル社会の急激な進展への対応が不可欠とし、5Gなど通信技術の拡張にともない、DX(デジタルトランスフォーメーション)へと変革する社会システムの中で、現在あらゆる産業分野に浸透している自動認識技術の発展に期待感を寄せられました。さらに、グリーン社会の実現、サプライチェーンの再構築をはじめとするレジリエンスの強化など、「新たな日常」の先取りによる成長戦略の取り組みと、経済産業省関係令和2年度3次補正予算案及び令和3年度当初予算案、令和3年度税制改正のポイントについて説明がありました。

また玉井課長は、昨年10月に政府が発表した<2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す>を挙げて、「経済と環境の好循環」を作っていく産業政策であるグリーン成長戦略を柱として、電力部門の脱炭素化に取り組み、電化及び水素化、CO₂回収、水素発電、蓄電など、グリーン成長戦略を公表しました。
(玉井課長の講演概要は次頁)

ご入会企業を紹介

JAISAには、昨年7月から現在まで16社が新たにご入会され、2019年度の9社及び2020年度の7社が事前に撮影したご挨拶の動画と合わせて紹介されました。

2019年度ご入会 (7月以降入会順)	2020年度ご入会 (12月まで入会順)
ソフトバンク株式会社 様	株式会社フェイス 様
セイコーホームズ株式会社 様	三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社 様
精研医科工業株式会社 様	株式会社ハイエレコン 様
アライゾンジャパン株式会社 様	ARC株式会社 様
株式会社オープントリーム 様	カシオ計算機株式会社 様
ダイオーエンジニアリング株式会社 様	コムシス情報システム株式会社 様
ワム・システム・デザイン株式会社 様	日本パレットレンタル株式会社 様
株式会社パトライト 様	
株式会社インテージ 様	

本年JAISA事業方針

賀詞交歓会 第1部の最後に、JAISA代表理事副会長西田浩一から、協会挨拶と本年の事業方針が紹介されました。本年も引き続き、新型コロナ感染症対策を充分に行い、新生活様式の拡大と進化に寄与し、自動認識システムの普及啓発事業を一層推進していく内容となっています。

賀詞交歓会の第2部は、Web会議システムのブレイクアウトルーム機能を使い、Web上のバーチャル会場で参加者の交流会が行われました。

会長室や副会長室のほか、会議室を設け参加者が自由に入退出できる空間で、名刺交換や歓談が行われ、新春賀詞交歓会は午後6時半に閉会しました。



賀詞交歓会
120名余りがオンラインで参加した



ブレイクアウトルーム機能による共通談話室（副会長室）
次々に入室される来訪者と新年の挨拶を交わす
左：西田代表理事副会長 右：春山副会長

2021年 自動認識システム普及啓発事業

自動認識総合展／展示会セミナー

- 2021年10月 東京
- 2022年2月 大阪

自動認識システム大賞

- 2021年2月募集開始～10月表彰式

未来のAUTO-IDプロジェクト

- 会員企業様の販売活動支援
- 展示会にて企画展示「SDGsを支える自動認識」

自動認識の基礎知識セミナー

- 集合形式・出張形式、オンライン方式の併用

情報発信

- 会報誌、情報誌、メルマガほか、広報活動の充実

自動認識技術者資格認定

- 基本技術者講習・試験
- RFID専門技術者講習・試験

自動認識システム市場動向調査

- 国内企業出荷実績の調査、分析
- 国内企業市場動向、市場予測の調査、分析

研究開発活動

- 標準化活動の推進
- 市場活性化の技術向上受託運営活動

部会・プロジェクト活動

- 部会：バーコード、RFID、バイオメトリクス、システム
- プロジェクト：医療自動認識、画像認識



共通談話室に来訪された会員企業のみなさま
オンラインで自由に会長室、副会長室、他会議室など入退室が可能
チャット機能で名刺交換も行われた

経済産業省 玉井課長の講演概要

昨年は、新型コロナウィルスが全世界に激震をもたらした。この未曾有の危機を乗り越えるため、生活様式のみならず、産業構造や社会システムを転換させていかねばならない。特に、「グリーン社会」への転換、「デジタル化」、サプライチェーンの再構築をはじめ「レジリエンス」の強化に重点的に取り組んでいく。

I.「新たな日常」の先取りによる成長戦略

～ウィズコロナ/ポストコロナ時代に求められる構造転換に向け、長期視点に立った日本企業の変革を後押し・加速～

デジタル改革

- (1) デジタルを活用した産業の転換
- (2) デジタル基盤・ルールの整備

グリーン社会の実現

- (1) 脱炭素化に向けたエネルギー転換
- (2) 循環経済への転換

中小企業・地域

- (1) 「新たな日常」下での中小企業支援
- (2) 地域経済の強化と一極集中是正

人材育成、イノベーション・エコシステムの創出

- (1) 変革を実現する人材の育成
- (2) イノベーション・エコシステムの創出

II.国内政策と一体となった対外経済政策

- (1) 國際協調の維持

- (2) 有志国との連携強化

- (3) 海外展開支援強化

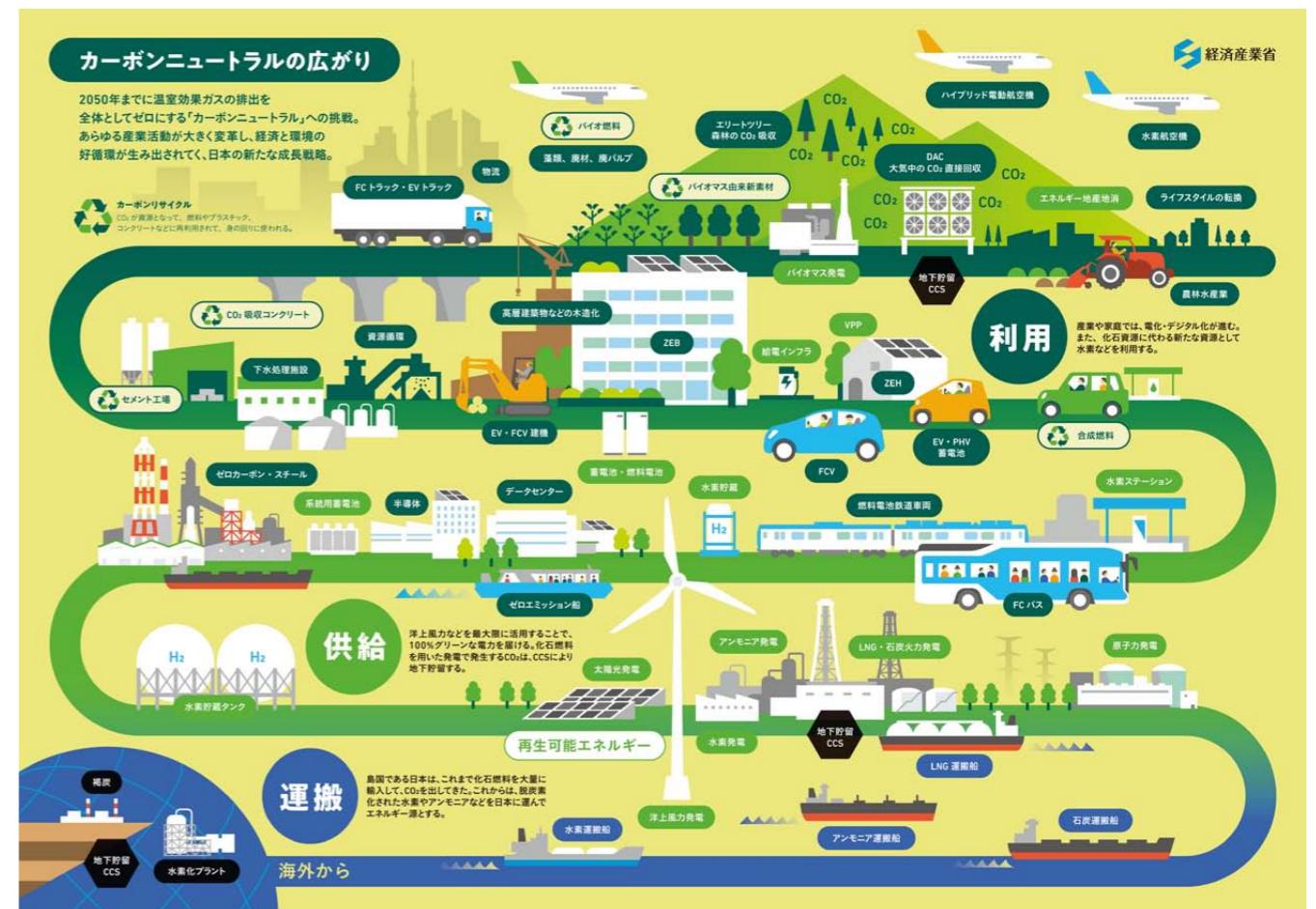
III.最重要課題：廃炉の安全かつ着実な実施／福島の復興を着実に進める

- (1) 廃炉の安全かつ着実な実施

- (2) 福島の復興を着実に進める

「経済産業省関係R2年度3次補正予算・R3年度当初予算案のポイント」から抜粋

昨年、我が国は「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言。
「グリーン成長戦略」に基づき、洋上風力産業、水素産業、自動車・蓄電池産業などの分野に加え、これらを支える産業機械・装置についても取り組みを進めていく。



「カーボンニュートラルの広がり」

AUTOID & COMMUNICATION EXPO OSAKA 第18回 自動認識総合展 大阪

関西唯一の自動認識機器とソリューションの専門展示会

12月1日、2日にマイドームおおさかで「第18回 自動認識総合展 大阪」が開催されました。

感染防止策として、会場やセミナー入口の自動検温、マスク類の着用、各所での手指消毒、会場内・展示ブースの清掃・消毒を定期実施するなど、予防対策を講じて運営され、会期中1,206名の来場者、153名のセミナー聴講者がありました。

本展示会は例年2月に開催していましたが、今回は2021年夏に予定されている東京オリンピック・パラリンピックの会場都合などで、会期を変更して開催されました。

12月1日の展示会初日は、JAISA 代表理事長 池田隆之の開会挨拶に続き、経済産業省近畿経済産業局 製造産業課長 八田明洋様の祝辞が披露され、来賓・参列者によるテープカットで展示会の幕が開きました。



祝辞を述べる経済産業省
近畿経済産業局 八田課長

JAISA 池田代表理事長

展示会場では例年に比べ、資料展示、映像展示、リモート展示など、無人の展示が増えるとともに、出展各社のソリューションにも無人化や非対面のシステムが多く見られました。出展社の中には、事前に来場要望のあるユーザーに時間を設定してアテンド対応するなど、計画的な運営を行う企業もありました。



テープカット参列者：

経済産業省近畿経済産業局 製造産業課長 八田 明洋 様
大阪府商工労働部 ものづくり支援課長 竹田 謙二 様
大阪市経済戦略局 産業振興課長 岩神 誠 様
大阪商工会議所経営情報センター 所長 松井 伊代子 様
JAISA 代表理事長 池田 隆之

JAISAテーマ展示やセミナーを併設

展示会場には JAISA のテーマ展示として、『未来をつなぐ AUTO-ID』が併設され、今年のテーマ「SDGs を支える自動認識」の展示が行なわれました。

また、セミナーでは、経済産業省近畿経済産業局による基調講演「関西製造業の活性化に向けて」をはじめ、7セッション12講座が行われました。



展示場やセミナー会場入口での検温と手指消毒など、コロナ感染症対策を実施

自動認識のソリューションと最新機器

マイドームおおさか1Fの展示会場では、例年に比べ出展者が減少したこともあり、各社の展示ブースは余裕を持った配置となりました。初日開場直後やセミナー前後など、一時的に来場受付が混雑する場面もありましたが、検温～手指消毒～入場もスムーズに行われ、来場者もゆっくりと見学していました。

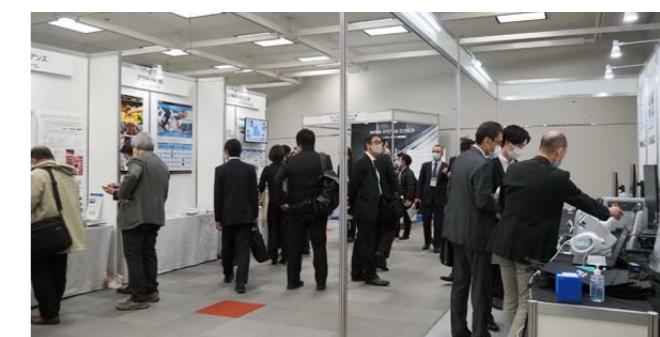
出展各社の展示では、RFIDの一括読み取り機能を活かした出入荷検品や用途別のタグなどRFID関連の製品が多く、また、コロナ禍を反映した画像認識による体温自動測定のソリューションの展示も目立ちました。



新たな試みとして、リモートで会場と本社を繋ぎ、
RFIDの製品管理を実演。(東芝テック)



自動認識システム大賞受賞者パネル



第18回 自動認識総合展 大阪 おもな出展社及び展示内容 (50音順)

アイニックス(株)	電子ペーパー ESL でデータの『見える化・ダイナミックな変更』により活きたデータの活用提案、RFIDの機器、運用ソリューション、モバイル機器などIT化促進を提案。
オカベマーキングシステム(株)	滅菌消毒が可能なバーコードスキャナやプリンタ、RFID製品やソリューション、新製品のバーコードプリンタ EC300 シリーズ、BLE ビーコン製品ソリューションを紹介。
(株)グレープシステム	コロナ禍における非接触のニーズ拡大に、グレープシステムがお応えします! 出展テーマ：音声認識、画像認識/AI、バーコード/QRコード/DataMatrix コード
(株)サイレンスネット	用途目的に応じた RFID UHF 帯タグ。耐熱・金属対応タグとアンテナは品揃えも豊富。 テーブル型から組込部品モジュールまで各種リーダライタを紹介。
(株)サトー	“現場を止めない”産業用ラベルプリンタ「スキャントロニクス® CL4/6NX-J Plus シリーズ」に新モデル登場。IoTベースのリモートメンテナンスに対応。
ダイオーエンジニアリング(株)	新商品の PET を使用しないエコタグや金属対応・液体対応タグ等の特殊環境タグやソフトウェアを最適に組み合わせたソリューションをご提案。
東芝テック(株)	《リモート展示》RFID による製品の入荷管理ほか、ご来場者の質問・ご要望にリアルタイムでお応えします。
凸版印刷(株)	IoT活用のためのデバイスとして、優位性のあるICタグ及び新商材のご紹介。 ブランドプロテクション、指紋認証、画像認識等を展示。ビジネスのヒントが見つかります。
(株)トラスト・テクノロジー	専門家が不要なAI画像検査システムです。従来は目視以外は困難であった、機械部品や電子部品、半導体、木材、ガラス、金属素材など、様々な物の外観・異物検査を実現します。
(株)マーストーケンソリューション	【UHF 帯 RFID】ハンディ/自律動作型リーダライタ/ICタグ各種【1D/2D コード/画像認識】 ハンディ・固定式スキャナ各種/防爆対応品【NEC/ICカード】ICカード活用ソリューション各種
ワム・システム・デザイン(株)	カラーコード、弊社独自開発のArUcoコードを利用した非接触の実働実績管理システム。 作業員情報を登録したコードを、iPad にかざして認証させ、勤怠や作業実績を管理する。



JAISAテーマ展示 未来をつなぐAUTO-ID

主催者企画：未来をつなぐAUTO-IDでは、「SDGsを支える自動認識」をテーマに、SDGsの目標に結び付いた15社（団体）のソリューションが紹介されました。

テーマ展示では、SDGsへの貢献を通じて未来をつなぐAUTO-IDの現在、これからの活用例を展示しています。事例の多くは「ニューノーマル」な生活を実現するシステムやサービスで、コロナ禍で変わる日常を、自動認識技術（AUTO-ID）が支えていることをアピールする企画展示となっています。

〈働きがいも 経済成長も〉

飲 食	8 すべての人に 健康で安全な食料を 3 すべての人に 持続可能な食料を 11 持続可能な 都市をつくる JAISA
テーブルエンターテイメント	
小 売	
RushWalk	
アパレル	
フレクションレスショップ	
スーパー	
AIによる商品識別カートソリューション 東芝テック（株）	
流通／オフィス	8 すべての人に 健康で安全な食料を 3 すべての人に 持続可能な食料を 11 持続可能な 都市をつくる
PBI 生体認証技術を用いた 電子印鑑（印影） (株)日立製作所	

〈産業と技術革新の基盤をつくろう〉

測量・計測	9 すべての人に 健康で安全な食料を 11 持続可能な 都市をつくる 8 すべての人に 持続可能な 都市をつくる
簡易計測ARアプリ 「スマホdeサーベイ」	
検査・点検	
空間記録アプリ 「Pinspect(ピンスペクト)」 トヨーカネツ（株）／（株）エム・ソフト	
公共／交通	9 すべての人に 健康で安全な食料を 11 持続可能な 都市をつくる 8 すべての人に 持続可能な 都市をつくる
AI画像解析を活用した ガードレール支柱の腐食点検システム 凸版印刷（株）／（株）イフシス／（株）ケー・エフ・シー	
商品管理	9 すべての人に 健康で安全な食料を 11 持続可能な 都市をつくる 8 すべての人に 持続可能な 都市をつくる
温度測定機能付きICラベル トップパン・フォームズ（株）	
商品管理	9 すべての人に 健康で安全な食料を 11 持続可能な 都市をつくる 8 すべての人に 持続可能な 都市をつくる
温度センサータグ エイブリィ・デニソン・ジャパン（株）	

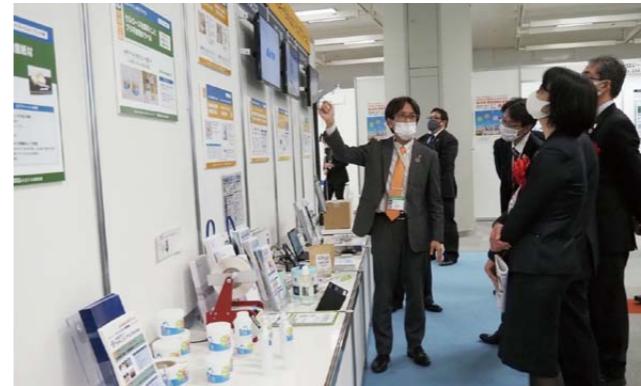
SDGsを支える自動認識



持続可能な開発目標に対応する各社のソリューションに高い関心

JAISAでは主催者企画として、未来をつなぐAUTO-IDをコンセプトに、昨年から自動認識総合展で会員各社のソリューションや製品を紹介しています。

今年度は「SDGsを支える自動認識」をテーマに、画像認識、AR、RFID、バイオメトリクス、AIを組み入れた各社のソリューションを展示、多くの来場者が立ち寄り、デモンストレーションを見学していました。



開会直後には来賓の皆さまをテーマ展示にご案内しました。最近注目されている非接触による個人認証システムの電子印鑑、AI画像解析技術でガードレールの腐食箇所を検知、紙を使用したICタグや各種環境対応シール・ラベルなど、最新技術から実用的な環境製品まで、15社の協力展示に興味を示していました。



展示協力をいただいたアテンダーのみなさん





ビジネスに役立つセミナーを併設

マイドームおおさか8Fでは、経済産業省近畿経済産業局による基調講演「関西製造業の活性化に向けて」をはじめ、会期中7セッション12講座のセミナーが行なわれました。ソーシャルディスタンスを確保し、ゆったりとしたレイアウトで、製造、物流、小売、医療など業種別に自動認識システムの活用事例と業界動向について講演がありました。



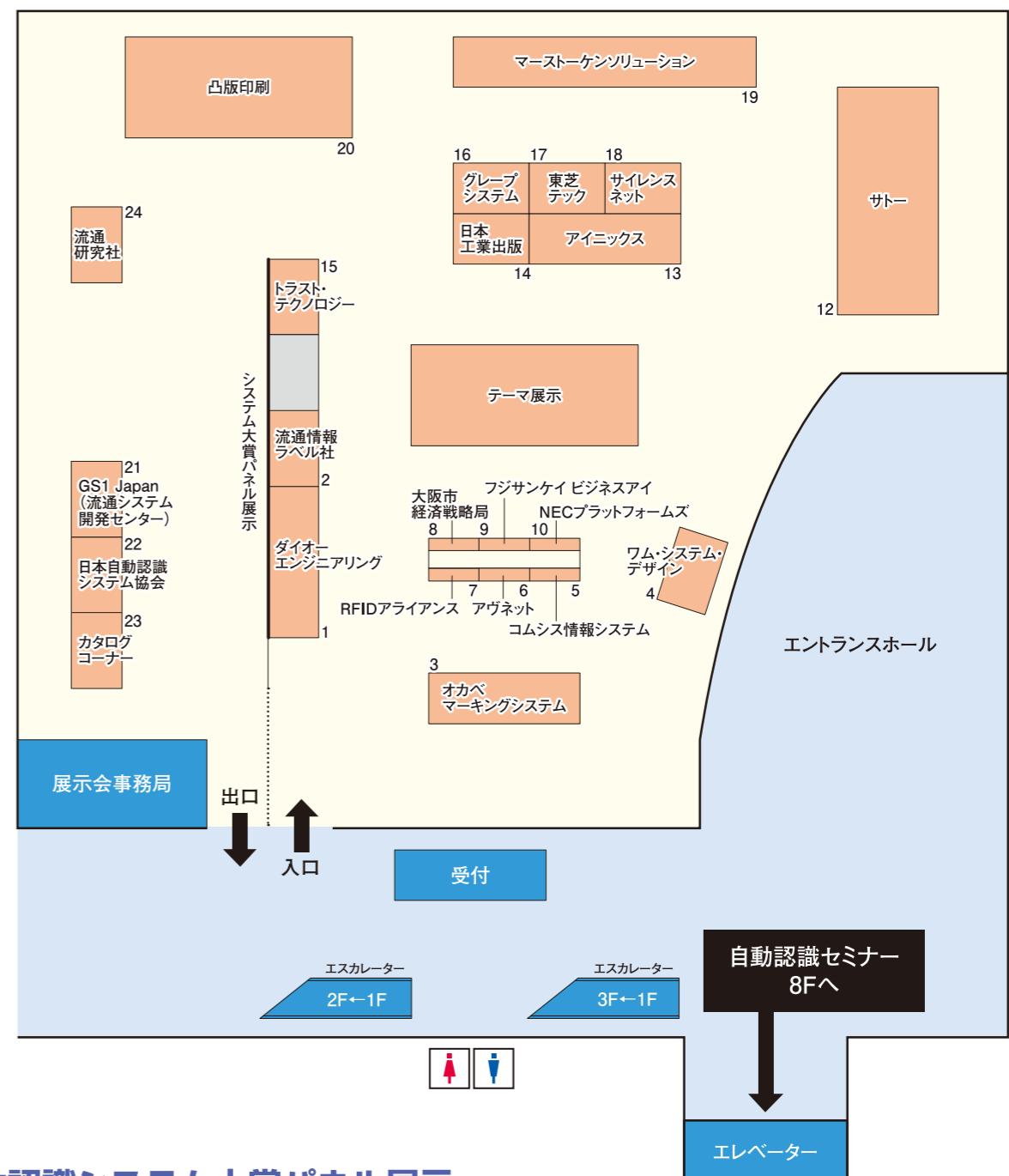
12月1日(火)	S1	無料 チュートリアルセッション(自動認識の基礎講座) <small>※資料をご希望の方には、当日1,000円にて販売いたします。</small>	マイドームおおさか8階 第1・第2会議室
	10:00 ~ 11:00	(一社)日本自動認識システム協会 理事 平本 純也 氏	
	S2	無料 基調講演 <small>※資料付き</small>	マイドームおおさか8階 第1・第2会議室
	11:30 ~ 12:30	関西製造業の活性化に向けて 経済産業省 近畿経済産業局 製造産業課長 八田 明洋 氏	
	S3	有料 医療現場での活用事例 <small>※聴講有料(資料付き)</small>	マイドームおおさか8階 第1・第2会議室
	13:30 ~ 14:20	総合滅菌管理システムによるGS1コードを用いた手術器具トレーサビリティと労働生産性の向上 福井大学 医学部 救急医学 特命助教 笠松 真吾 氏	
	14:30 ~ 15:20	医療分野への自動認識技術導入に向けた理想と現実～医療機器管理を中心に～(リモート講演) (地独)神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター 臨床工学技士室 藤井 清孝 氏	

12月2日(水)	S4	無料 第22回自動認識システム大賞 受賞企業講演 <small>※資料をご希望の方には、当日1,000円にて販売いたします。</small>	マイドームおおさか8階 第1・第2会議室
	10:00 ~ 10:30	AI/MLを活用し、害虫・ネズミと戦うIoTソリューション (株)ベストビジョンソリューションズ 亀本 達也 氏	
	10:40 ~ 11:10	RFIDを活用した樹脂製通箱高速仕分けシステム (株)デンソーエスアイ 名倉 智史 氏	
	11:20 ~ 11:50	QRコードを活用したホームドア用車両扉状態検出システム (株)デンソーウェーブ AUTO-ID事業部技術2部技術2室 主任 太田 裕 氏	
	S5	有料 安全と効率化における活用事例 <small>※聴講有料(資料付き)</small>	マイドームおおさか8階 第3会議室
	10:00 ~ 10:50	AIによる「墜落制止器具」装着状況写真の自動判定 コムシス情報システム(株) 事業開発室 千葉 崇宏 氏	
	11:00 ~ 11:50	量り売りに対応した「スマホで給油オーダー」のご紹介 NECプラットフォームズ(株) アプライアンス事業部 ISDソフトウェア開発G シニアマネージャー 東 謙二 氏	

12月2日(水)	S6	無料 サプライチェーンのスマート化に向けた経済産業省の取組 <small>※資料付き</small>	マイドームおおさか8階 第1・第2会議室
	13:30 ~ 14:30	サプライチェーンのスマート化に向けた経済産業省の取組 経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 消費・流通政策課 課長補佐 久保田 優生 氏	
	S7	有料 流通・物流業界における活用事例 <small>※聴講有料(資料付き)</small>	マイドームおおさか8階 第3会議室
	13:30 ~ 14:20	WITH/AFTER コロナ スーパーマーケットのDX取り組み ユナイテッドスーパーマーケットホールディングス(株) デジタル本部デジタル企画部長/(株)カスミ 取締役 執行役員 氏満行 光史郎	
	14:30 ~ 15:20	物流におけるロボティクスの導入について Kyoto Robotics(株) 専務執行役COO 澤田 純一 氏	



自動認識総合展 大阪 〈会場図〉



自動認識システム大賞パネル展示

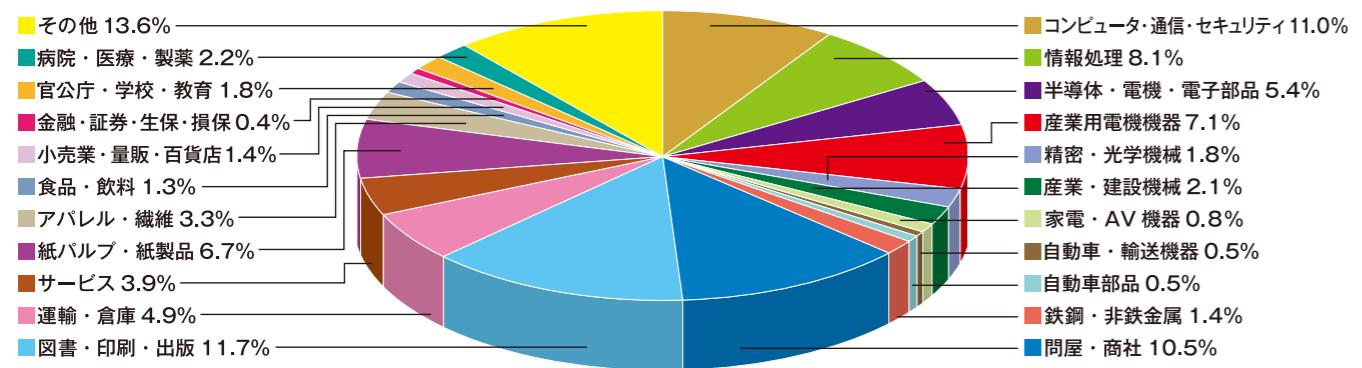
大 賞	QRコードを活用した ホームドア用車両扉状態検出システム	(株)デンソーウェーブ／東京都交通局
優 秀 賞	複数加盟店での指静脈認証による 手ぶらで安全なキャッシュレス決済POC	(株)日立製作所／ユーシーカード(株)
優 秀 賞	RFIDを活用した樹脂製通箱高速仕分けシステム	(株)デンソーエスアイ
フジサンケイビジネスアイ賞	AI/MLを活用し、害虫・ネズミと戦うIoTソリューション	(株)ベストビジョンソリューションズ／環境機器(株)
特 別 賞	プロジェクトピッキングシステム®	(株)アイオイ・システム



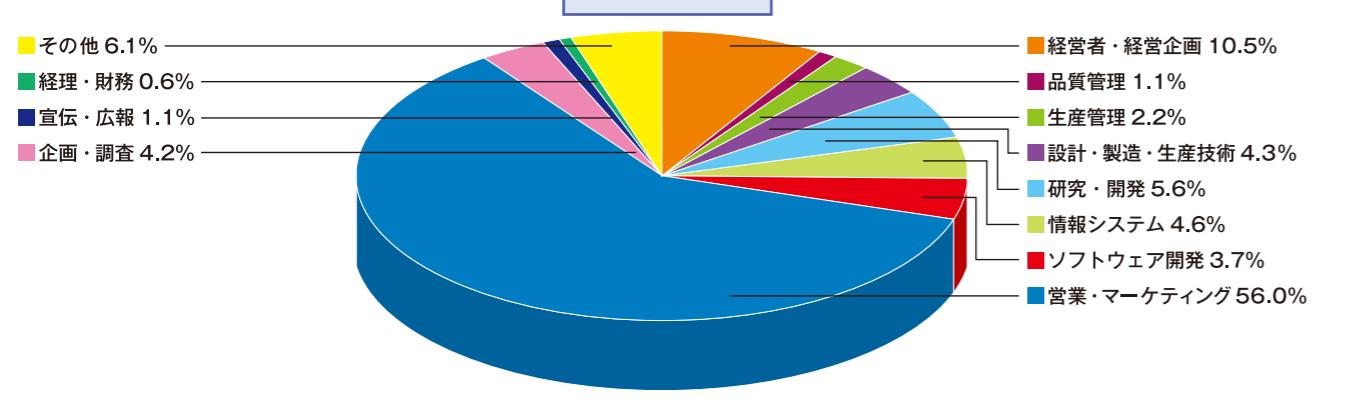
地元大阪の来場者が8割

自動認識総合展 大阪には2日間の会期中1,206名が来場しました。来場者の92.6%が近畿圏で、そのうち約80%が大阪府、東海圏は1.5%、関東圏は4.8%でした。

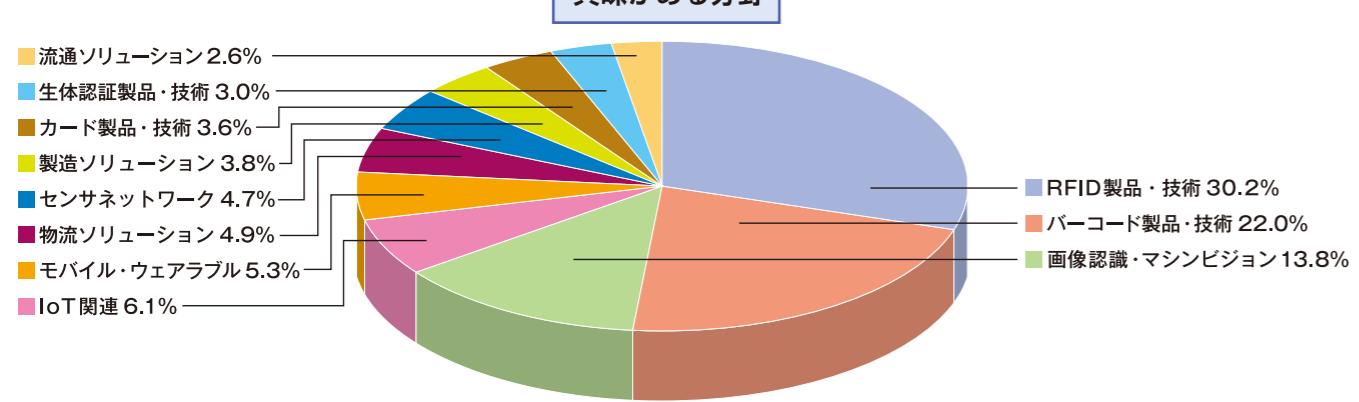
来場者の業種



来場者の職種



興味がある分野



自動認識基本技術者 資格認定講習・試験

JAISAでは、資格・認定事業の一環として自動認識技術に関する基本的な知識の修得を目指す方に、資格認定講習・試験を行っています。

現在、自動認識技術は日常の様々なシステムに組み込まれています。バーコードやRFID、生体認証など、自動認識の基礎知識の習得に役立ちます。

こんな方にお勧め!

- 自動認識業界や自動認識システムを利用している企業への就職を目指す学生
- 新入社員、中堅社員等の基礎研修や自己啓発（主に営業部門・管理部門など）に取り組む方
- 専門技術者資格取得を目指す方（主に技術部門・開発部門）
 - ※専門技術者資格を受験するには、自動認識基本技術者の資格取得が必要です
- 自動認識システムや機器の管理者・ユーザー
 - 自動認識システムの導入を検討中の方

RFID専門技術者 認定講習・試験

自動認識基本技術者資格の認定登録者で、RFIDについてより専門的な知識の修得を目指す方。RFIDは、今後更に普及が見込まれる自動認識技術で、RFIDに携わる人はその技術や規格、法規等を理解しておくことが求められます。本資格ではRFIDシステムのより専門的、実用的な知識を習得します。

こんな方にお勧め!

- RFID関連製品の研究や開発等、RFID技術に専門に携わる方の研修、自己啓発、または実力の確認
- 規格や使用周波数帯の違いによる、技術の差異や特徴などを包括的に学びたい方
- より専門的な知識をもとにした、顧客や技術部門とのコミュニケーションが必要と感じている、営業部門、企画部門や管理役職者の方
- RFID関連製品を用いたシステム構築を目指す方、RFID技術を極めたい方



2020年10月末に行われた資格認定講習・試験東京会場（東京ビッグサイト 会議棟）

RFID専門技術者 認定講習・試験 <自動認識専門技術者がRFIDを深く学ぶための講習・試験>

日程	定員	会場
<講習> 2021年3月4日～6日	<試験> 2021年3月13日	30名 JAISA会議室

※2020年度の自動認識基本技術者 資格認定講習・試験は終了しました。

自動認識基本技術者 資格認定講習・試験

日程	2020年 9月11日～12日	2020年 10月30日～31日	2020年 12月11日～12日	2021年 1月22日～23日
定員	60名	150名	30名	50名
会場	マイドーム おおさか	東京ビッグサイト 6F会議棟	博多 アーバンスクエア	東京ビッグサイト TFTビル

● 新年度の自動認識基本技術者 資格認定講習・試験の概要と日程は、2021年3月に公表し、当協会のWebサイトや会報JAISA「春号」及びメールマガなどでお知らせいたします。